



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2019

No. 31 (2019年11月22日発行)

佐高 SGH ファイル

高1 地域課題研究 領域別発表会

2019年11月14日(木)に本校を会場として高1地域課題研究領域別発表会が行われました。この発表会は、今年度の初めから研究の仕方について講義を受けたり、リーダーズシンポジウムで各分野の専門家の人たちにお話を伺ったり、夏休みにはフィールドワークなどを行い、長期に渡る研究の集大成となる発表会でした。今回は3会場に分かれそれぞれ生徒50名以上、審査員3名の前でパワーポイントを使用してプレゼンを行いました。発表は当初の予定通り5分と短い時間でしたが、内容の濃い発表が多くなされ、その後の質疑応答も手を挙げて発言する者が多く充実した発表会となりました。選考された3グループは、12月13日(金)の成果発表会でステージ発表することになります。また、他の班もポスターセッションを行うこととなりますので、頑張ってください。



1 発表グループの会場

No.	研究グループ	会場	審査員 (○チーフ)		
1	18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28 (11グループ)	選択教室3	○吉永	小菅	赤堀
2	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 29 (10グループ)	選択教室4	○青山	戸田	片柳
3	1, 2, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 30, 31, 32 (11グループ)	英語演習室	○木村	島田	大嶋浩

2 領域別発表会の結果 代表3グループ(ステージ発表)

1. グループ9 領域2 自然・生命(医療) 「外来魚大進化計画~Let's make 魚粉~」
 1年1組 戸室 琴乃 1年1組 中村 拓真 1年2組 細野 俊碧
 1年3組 五十嵐 羽音 1年4組 久保田 晃生

2. グループ23 領域5 まちづくり・コミュニティ 「新名物 黒唐揚げ」
 1年1組 大西 真生 1年1組 長谷川 羽菜 1年3組 大山 時生
 1年3組 古宮 大靖 1年4組 矢部 くるみ 1年4組 山下 夏生

3. グループ32 領域6 人権・教育・文化 「レストランメニューの多言語化」
 1年1組 梅田 香穂 1年1組 江部 青飛 1年1組 岡部 豪太
 1年1組 小林 杏珠

2 生徒の振り返り

今日は、研究の大きな節目である領域別発表会でした。自分たちを含め10グループの発表会ということで、初めて聴くグループの発表も多く、とても興味深く聴くことができ、勉強にもなった。今回、私が感じた反省点は、質問に対してうまく答えることができなかったという点だ。予想していたものとは全く違う、自分たちでは考えつかなかった所への質問が来た時に、スムーズに答えることができなかった。そのため、この問題を解決するためには、クリティカルシンキングをし、全体を通して矛盾なく答えられるようにすることが大切だと思う。

1年1組 戸室 琴乃（魚粉班）

練習などでは聞くことができなかった他の領域の発表を聞くことができ、とても勉強になった。体育館で発表できるのは1グループだけだが、ポスター発表になったとしても全力で頑張りたい。

1年2組 細野 俊碧（魚粉班）

今回の発表では、発表を5分に収められたことや、中間発表でいただいたアドバイス通りに変更して、内容やパワーポイントを満足するものにできたことがとてもよかった。他の班の発表を聞いて、私たちの班では、考えつかなかった研究がとても多くて、興味深かった。それぞれの班にパワーポイントや発表の仕方に工夫があり、いいなと思ったことは自分が発表する際に取り入れたい。

1年1組 大西 真生（黒唐揚げ班）

10班の発表を聞いて、どの班もそれぞれいろいろな形で、栃木、佐野を盛り上げようと工夫して作られたパワーポイントの発表はとても分かりやすく、面白かった。どの班もネット調べ、文献引用のみならず、実際に聞き込み調査、アンケート調査、そこからの一般企業などへの提案と課題研究という学校の授業の1つとしてではなく、社会人を巻き込んで取り組んでいて、すごいと感じた。

1年4組 山下 夏生（黒唐揚げ班）

「佐野市にはなぜ外国人が集まらないのか」という疑問から数々の問題点を見つけ、始まった課題研究だったが、今日まで継続できてよかった。どの班も、1つのテーマに対して膨大な量のデータ、FW、考察をされていて良かったと思う。他の班の発表を見ると、今まで考えたこともないような視点に驚かされた。また、積極的に質問する環境が出来上がっており、無駄のない時間を過ごせたと思う。余談だが、発表後英語メニューを作成させていただいた「ぴのや」様に行った。私たちの作ったメニューが実際に外国の方に役立っていると聞いて、とても嬉しかった。私たちが取り組んだものが人の役に立つことでこんなにも胸が高鳴るのだと知り、これからも研究を続けていきたいと思った。

1年1組 小林 杏珠（レストランメニュー班）

今回の領域別発表会では、今までで一番いい発表ができたと思う。他の班の発表では今まで私たちが見つけられなかった観点で研究されていたり、様々なフィールドワークをされていて本当に勉強になった。とても緊張してかみかみになってしまったが、今まで研究してきた成果をすべて出し切ることができてよかった。当日の放課後、ぴのやさんに行くと、私たちが以前エンバシーカップのために作った英語メニューを使っていただけで、今後はもっと多くのメニューに対応したもっといいメニューを作ってもっと発展させた研究をしていきたいと思った。

1年1組 梅田 香穂（レストランメニュー班）

半年かけて研究を続け、今回の発表までできてよかった。しっかりと発表の準備をしていたので、質問にもきちんと答えることができた。また、発表を聞いているだけでなく、自分の気になったことをどんどん質問して楽しめたので良かった。

1年3組 小倉 悠輝（がん検診率班）

他の班の発表を初めて聞き、どの班も私の思いつかないアイデアを使い、見ていてとても面白く新しい発見があった。いろいろな視点で物事を捉えられるようになりたいと思った。私の班も今日実際に発表して、まだまだ改善点が多くあることを知った。今後はポスター発表なども残っているので、今日学んだことを生かせるようにしたい。

1年2組 横堀 咲英子（キャンプ場班）

宇都宮大学の中間発表の時にいただいたアドバイスや修正点を参考に、放課後などに班員と調整や修正をし、練習を頑張ってきた。そのため、本番では今までの研究の成果をしっかりと発表することができた。他の班の研究も自分たちとは違った目線であったり、まとめ方も様々で自分たちもこうしたいと思えるような発表が多かった。

1年4組 田村 璃空（防災士班）